

試験日	令和2年9月18日
-----	-----------

受験番号	
------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名 _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るものを除く）を指します。
2. 設問の文中には、一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】（事業計画）

事業者は、その業務を行う場合には、運転日報に定めるところに従わなければならない。

()

問2 【貨物自動車運送事業法】（事業計画）

【貨物自動車運送事業法施行規則】（事業計画の変更の届出）

事業者は、事業用自動車に関する事業計画の変更（各営業所に配置する事業用自動車の種別ごとの数の変更（当該変更後の事業計画が法第九条第二項において準用する法第六条各号に掲げる基準に適合しないおそれがある場合を除く。))をしたときは、遅滞なくその旨を、国土交通大臣に届け出なければならない。

()

問3【貨物自動車運送事業法】（輸送の安全）

事業者は、事業用自動車の最大積載量を超える積載をすることとなる運送の引受け、過積載による運送を前提とする事業用自動車の運行計画の作成及び事業用自動車の運転者その他従業員に対する過積載による運送の指示をしてはならない。

()

問4【貨物自動車運送事業法】（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者は、特定の荷主に対し、やむを得ない場合を除き、不当な差別的取扱いをしてはならない。

()

問5【貨物自動車運送事業法施行規則】

（事業計画の変更の認可の申請、事業計画の変更の届出）

事業者は、事業計画の変更をしようとするときは、貨物自動車運送事業法施行規則で定める届出事項を除き、認可が必要となるが、営業所に配置する事業用自動車の数の変更は、どのような場合であっても届出事項である。

()

問6【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（輸送の安全）

事業者は、経営の責任者の責務を定めることその他の国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送の効率向上に努めなければならない。

()

問7【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過労運転の防止）

事業者等は、運転者が長距離運転又は夜間の運転に従事する場合であって、疲労等により安全な運転を継続することができないおそれがあるときは、あらかじめ、当該運転者と交替するための運転者を配置しておかなければならない。

()

問 8 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（点呼等）

事業者は、事業用自動車の乗務を開始しようとする運転者及び乗務を終了した運転者に対する点呼において、運行管理者（補助者）の勤務時間等都合による場合は、対面に代えて電話による点呼を行うことができる。

（ ）

問 9 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運転者台帳）

事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る前項の運転者台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを一年間保存しなければならない。

（ ）

問 10 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者等の選任）

事業者は、事業用自動車（被けん引自動車を除く。以下この項において同じ。）の運行を管理する営業所ごとに、当該営業所が運行を管理する事業用自動車の数を三十で除して得た数（その数に一未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとする。）に一を加算して得た数以上の運行管理者を選任しなければならない。ただし、五両未満の事業用自動車の運行を管理する営業所であって、地方運輸局長が当該事業用自動車の種別、地理的条件その他の事情を勘案して当該事業用自動車の運行の安全の確保に支障を生ずるおそれがないと認めるものについては、この限りでない。

（ ）

問 11 【自動車事故報告規則】（速報）

事業者は、その使用する自動車について2人以上の死者を生じた事故があったときは、電話、ファクシミリ装置その他適当な方法により、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸支局長等に速報しなければならない。

（ ）

問 1 2 【道路運送法】（有償旅客運送の禁止）

貨物自動車運送事業を經營する者は、有償で旅客の運送をしてはならない。ただし、災害のため緊急を要するときその他やむを得ない事由がある場合であつて国土交通大臣の許可を受けたときは、この限りでない。

()

問 1 3 【道路運送車両法】（整備管理者）

自動車の使用者は、自動車の点検及び整備並びに自動車車庫の管理に関する事項を処理させるため、自動車の点検及び整備に関し特に専門的知識を必要とすると認められる車両重量8トン以上の自動車その他の国土交通省令で定める自動車であつて国土交通省令で定める台数以上のものの使用の本拠ごとに、自動車の点検及び整備に関する事務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。

()

問 1 4 【道路運送車両法】（不正改造等の禁止）

何人も、第五十八条第一項の規定により有効な自動車検査証の交付を受けている自動車又は第九十七条の三第一項の規定により使用の届出を行っている検査対象外軽自動車について、やむを得ない場合を除き、自動車又はその部分の改造、装置の取付け又は取り外しその他これらに類する行為であつて、当該自動車が保安基準に適合しないこととなるものを行つてはならない。

()

問 1 5 【労働基準法】（労働時間）

使用者は、労働者に、休憩時間を除き一週間について48時間を超えて、労働させてはならない。

()

問 1 6 【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間について定められているが、1日についての拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、16時間とすること、とされている。

()

問 1 7 【私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律】(総則)

この法律において「不当な取引制限」とは、事業者が、契約、協定その他何らの名義をもってするかを問わず、他の事業者と共同して対価を決定し、維持し、若しくは引き上げ、又は数量、技術、製品、設備若しくは取引の相手方を制限する等相互にその事業活動を拘束し、又は遂行することにより、公共の利益に反して、一定の取引分野における競争を実質的に制限することをいう。

()

問 1 8 【下請代金支払遅延等防止法】(下請代金の支払期日)

下請代金の支払期日が定められなかつたときは親事業者が下請事業者の給付を受領した日が、法第2条の2第1項の規定に違反して下請代金の支払期日が定められたときは親事業者が下請事業者の給付を受領した日から起算して30日を経過した日の前日が下請代金の支払期日と定められたものとみなす。

()

Ⅱ. 次の問題について、該当するものを選び（ ）内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】（定義）

次の定義に当てはまる事業はどれか。正しいものを次の中から1つ選び、（ ）内に記号で記入しなさい。

「他人の需要に応じ、有償で、自動車（3輪以上の軽自動車及び2輪の自動車を除く。）を使用して貨物を運送する事業」

- ア. 一般貨物自動車運送事業
- イ. 特定貨物自動車運送事業
- ウ. 貨物軽自動車運送事業

（ ）

問2 【貨物自動車運送事業法】（運賃及び料金等の掲示）

【貨物自動車運送事業法施行規則】（掲示事項）

事業者が、主たる事務所その他の営業所に掲示しなければならないものとして法で定められているものについて、誤っているものはどれか。次の中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 定款
- イ. 運送約款
- ウ. 業務の範囲（許可に付された条件によって業務の範囲が限定されている場合に限る。）

（ ）

問3【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過労運転の防止）

事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者はどれか。次の中から2つ選び（ ）内に記号で記入しなさい。

- ア. 道路交通法違反により警察から検挙されたことのある者
- イ. 日々雇い入れられる者
- ウ. 試みの使用期間中の者（14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。）
- エ. 事務職として採用した正規職員

（ ）（ ）

問4【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の業務）

運行管理者の業務について、正しいものはどれか。次のア～オの中から2つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 貨物の積載方法について、従業員に対する指導及び監督を行うこと。
- イ. 事業用自動車の保管の用に供する自動車車庫を適切に管理すること。
- ウ. 運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持すること。
- エ. 定期点検整備の実施計画を定めること。
- オ. 事業計画に従い業務を行うに必要な員数の事業用自動車の運転者を常時選任しておくこと。

（ ）（ ）

問5【自動車事故報告規則】(定義)

事業者が、届出しなければならない事故として自動車事故報告規則に定められている事項について、誤っているものはどれか。次の中から1つ選び()内にその番号を記入しなさい。

- ① 死者又は重傷者を生じたもの
- ② 10人以上の負傷者を生じたもの
- ③ 荷物をき損・破損させたもの
- ④ 酒気帯び運転を伴うもの

()

問6【道路運送車両法】(日常点検整備)(自動車の構造)(整備管理者)
(変更登録)

次の記述のうち、誤っているものはどれか。1つ選び()内にその番号を記入しなさい。

- ① 自動車運送事業の用に供する自動車の使用者又はこれらの自動車を運行する者は、1日1回その運行の開始前において、国土交通省令で定める技術上の基準により、日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。
- ② 自動車は、長さ、幅、高さ、車両総重量等について、道路運送車両の保安上の技術基準に適合するものでなければ運行の用に供してはならない。
- ③ 大型自動車使用者等は、整備管理者に対し、その職務の執行に必要な権限を与えなければならない。
- ④ 自動車の所有者は、自動車の使用の本拠の位置に変更があったときは、その事由があった日から30日以内に、国土交通大臣が行う変更登録の申請をしなければならない。

()

問7【道路交通法】(停車及び駐車を禁止する場所)

道路標識等により停車及び駐車が禁止されている道路の部分及び停車または駐車をしてはならない場所として正しいものはどれか。次のア～エの中から2つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 交差点の側端又は道路のまがりかどからから5メートル以内の部分
 - イ. 横断歩道の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分
 - ウ. 乗合自動車の停留所を表示する標示柱が設けられている位置から15メートル以内の部分(当該停留所に係る運行系統に属する乗合自動車の運行時間中に限る)
 - エ. 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分
- () ()

問8【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

使用者は、貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、次に定めるところによります。空欄の【 】内に入る正しいものを次のア～クの中からそれぞれ1つ選び、その記号を記入しなさい。

- ① 拘束時間は、1箇月について【 】を超えないものとする。
- ② 勤務終了後、継続【 】以上の休息期間を与えること。

ア. 4時間	イ. 5時間	ウ. 8時間	エ. 9時間
オ. 13時間	カ. 15時間	キ. 24時間	ク. 60時間
ケ. 193時間	コ. 293時間	ク. 330時間	

試験日	令和2年9月18日
-----	-----------

受験番号	
------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名 _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るものを除く）を指します。
2. 設問の文中には、一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】（事業計画）

事業者は、その業務を行う場合には、運転日報に定めるところに従わなければならない。

(×)

問2 【貨物自動車運送事業法】（事業計画）

【貨物自動車運送事業法施行規則】（事業計画の変更の届出）

事業者は、事業用自動車に関する事業計画の変更（各営業所に配置する事業用自動車の種別ごとの数の変更（当該変更後の事業計画が法第九条第二項において準用する法第六条各号に掲げる基準に適合しないおそれがある場合を除く。))をしたときは、遅滞なくその旨を、国土交通大臣に届け出なければならない。

(×)

問3【貨物自動車運送事業法】（輸送の安全）

事業者は、事業用自動車の最大積載量を超える積載をすることとなる運送の引受け、過積載による運送を前提とする事業用自動車の運行計画の作成及び事業用自動車の運転者その他従業員に対する過積載による運送の指示をしてはならない。

（ ○ ）

問4【貨物自動車運送事業法】（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者は、特定の荷主に対し、やむを得ない場合を除き、不当な差別的取扱いをしてはならない。

（ × ）

問5【貨物自動車運送事業法施行規則】

（事業計画の変更の認可の申請、事業計画の変更の届出）

事業者は、事業計画の変更をしようとするときは、貨物自動車運送事業法施行規則で定める届出事項を除き、認可が必要となるが、営業所に配置する事業用自動車の数の変更は、どのような場合であっても届出事項である。

（ × ）

問6【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（輸送の安全）

事業者は、経営の責任者の責務を定めることその他の国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送の効率向上に努めなければならない。

（ × ）

問7【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過労運転の防止）

事業者等は、運転者が長距離運転又は夜間の運転に従事する場合であって、疲労等により安全な運転を継続することができないおそれがあるときは、あらかじめ、当該運転者と交替するための運転者を配置しておかなければならない。

（ ○ ）

問 8 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（点呼等）

事業者は、事業用自動車の乗務を開始しようとする運転者及び乗務を終了した運転者に対する点呼において、運行管理者（補助者）の勤務時間等都合による場合は、対面に代えて電話による点呼を行うことができる。

（ × ）

問 9 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運転者台帳）

事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る前項の運転者台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを一年間保存しなければならない。

（ × ）

問 10 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者等の選任）

事業者は、事業用自動車（被けん引自動車を除く。以下この項において同じ。）の運行を管理する営業所ごとに、当該営業所が運行を管理する事業用自動車の数を三十で除して得た数（その数に一未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとする。）に一を加算して得た数以上の運行管理者を選任しなければならない。ただし、五両未満の事業用自動車の運行を管理する営業所であって、地方運輸局長が当該事業用自動車の種別、地理的条件その他の事情を勘案して当該事業用自動車の運行の安全の確保に支障を生ずるおそれがないと認めるものについては、この限りでない。

（ ○ ）

問 11 【自動車事故報告規則】（速報）

事業者は、その使用する自動車について2人以上の死者を生じた事故があったときは、電話、ファクシミリ装置その他適当な方法により、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸支局長等に速報しなければならない。

（ ○ ）

問 1 2 【道路運送法】（有償旅客運送の禁止）

貨物自動車運送事業を經營する者は、有償で旅客の運送をしてはならない。ただし、災害のため緊急を要するときその他やむを得ない事由がある場合であつて国土交通大臣の許可を受けたときは、この限りでない。

（ ○ ）

問 1 3 【道路運送車両法】（整備管理者）

自動車の使用者は、自動車の点検及び整備並びに自動車車庫の管理に関する事項を処理させるため、自動車の点検及び整備に関し特に専門的知識を必要とすると認められる車両重量 8 トン以上の自動車その他の国土交通省令で定める自動車であつて国土交通省令で定める台数以上のものの使用の本拠ごとに、自動車の点検及び整備に関する事務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。

（ × ）

問 1 4 【道路運送車両法】（不正改造等の禁止）

何人も、第五十八条第一項の規定により有効な自動車検査証の交付を受けている自動車又は第九十七条の三第一項の規定により使用の届出を行っている検査対象外軽自動車について、やむを得ない場合を除き、自動車又はその部分の改造、装置の取付け又は取り外しその他これらに類する行為であつて、当該自動車が保安基準に適合しないこととなるものを行つてはならない。

（ × ）

問 1 5 【労働基準法】（労働時間）

使用者は、労働者に、休憩時間を除き一週間について 4 8 時間を超えて、労働させてはならない。

（ × ）

問 1 6 【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間について定められているが、1日についての拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、16時間とすること、とされている。

(○)

問 1 7 【私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律】(総則)

この法律において「不当な取引制限」とは、事業者が、契約、協定その他何らの名義をもってするかを問わず、他の事業者と共同して対価を決定し、維持し、若しくは引き上げ、又は数量、技術、製品、設備若しくは取引の相手方を制限する等相互にその事業活動を拘束し、又は遂行することにより、公共の利益に反して、一定の取引分野における競争を実質的に制限することをいう。

(○)

問 1 8 【下請代金支払遅延等防止法】(下請代金の支払期日)

下請代金の支払期日が定められなかつたときは親事業者が下請事業者の給付を受領した日が、法第2条の2第1項の規定に違反して下請代金の支払期日が定められたときは親事業者が下請事業者の給付を受領した日から起算して30日を経過した日の前日が下請代金の支払期日と定められたものとみなす。

(×)

Ⅱ. 次の問題について、該当するものを選び（ ）内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】（定義）

次の定義に当てはまる事業はどれか。正しいものを次の中から1つ選び、（ ）内に記号で記入しなさい。

「他人の需要に応じ、有償で、自動車（3輪以上の軽自動車及び2輪の自動車を除く。）を使用して貨物を運送する事業」

- ア. 一般貨物自動車運送事業
- イ. 特定貨物自動車運送事業
- ウ. 貨物軽自動車運送事業

（ ア ）

問2 【貨物自動車運送事業法】（運賃及び料金等の掲示）

【貨物自動車運送事業法施行規則】（掲示事項）

事業者が、主たる事務所その他の営業所に掲示しなければならないものとして法で定められているものについて、誤っているものはどれか。次の中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 定款
- イ. 運送約款
- ウ. 業務の範囲（許可に付された条件によって業務の範囲が限定されている場合に限る。）

（ ア ）

問3【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過労運転の防止）

事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者はどれか。次の中から2つ選び（ ）内に記号で記入しなさい。

- ア. 道路交通法違反により警察から検挙されたことのある者
- イ. 日々雇い入れられる者
- ウ. 試みの使用期間中の者（14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。）
- エ. 事務職として採用した正規職員

（イ）（ウ）

問4【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の業務）

運行管理者の業務について、正しいものはどれか。次のア～オの中から2つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 貨物の積載方法について、従業員に対する指導及び監督を行うこと。
- イ. 事業用自動車の保管の用に供する自動車車庫を適切に管理すること。
- ウ. 運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持すること。
- エ. 定期点検整備の実施計画を定めること。
- オ. 事業計画に従い業務を行うに必要な員数の事業用自動車の運転者を常時選任しておくこと。

（ア）（ウ）

問5【自動車事故報告規則】(定義)

事業者が、届出しなければならない事故として自動車事故報告規則に定められている事項について、誤っているものはどれか。次の中から1つ選び()内にその番号を記入しなさい。

- ① 死者又は重傷者を生じたもの
- ② 10人以上の負傷者を生じたもの
- ③ 荷物をき損・破損させたもの
- ④ 酒気帯び運転を伴うもの

(③)

問6【道路運送車両法】(日常点検整備)(自動車の構造)(整備管理者)
(変更登録)

次の記述のうち、誤っているものはどれか。1つ選び()内にその番号を記入しなさい。

- ① 自動車運送事業の用に供する自動車の使用者又はこれらの自動車を運行する者は、1日1回その運行の開始前において、国土交通省令で定める技術上の基準により、日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。
- ② 自動車は、長さ、幅、高さ、車両総重量等について、道路運送車両の保安上の技術基準に適合するものでなければ運行の用に供してはならない。
- ③ 大型自動車使用者等は、整備管理者に対し、その職務の執行に必要な権限を与えなければならない。
- ④ 自動車の所有者は、自動車の使用の本拠の位置に変更があったときは、その事由があった日から30日以内に、国土交通大臣が行う変更登録の申請をしなければならない。

(④)

問7【道路交通法】(停車及び駐車を禁止する場所)

道路標識等により停車及び駐車が禁止されている道路の部分及び停車または駐車をしてはならない場所として正しいものはどれか。次のア～エの中から2つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 交差点の側端又は道路のまがりかどからから5メートル以内の部分
- イ. 横断歩道の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分
- ウ. 乗合自動車の停留所を表示する標示柱が設けられている位置から15メートル以内の部分(当該停留所に係る運行系統に属する乗合自動車の運行時間中に限る)
- エ. 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分

(ア)(エ)

問8【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

使用者は、貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、次に定めるところによります。空欄の【 】内に入る正しいものを次のア～クの中からそれぞれ1つ選び、その記号を記入しなさい。

- ① 拘束時間は、1箇月について【コ】を超えないものとする。
- ② 勤務終了後、継続【ウ】以上の休息期間を与えること。

ア. 4時間	イ. 5時間	ウ. 8時間	エ. 9時間
オ. 13時間	カ. 15時間	キ. 24時間	ク. 60時間
ケ. 193時間	コ. 293時間	ク. 330時間	

北陸信越運輸局

(注)受験者数には「欠席者」を含む。

試験日	初回							再試験							合計														
	受験者数	内訳		合格者数	不合格者数	内訳		受験者数	内訳		合格者数	不合格者数	内訳		受験者数	内訳		合格者数	不合格者数	内訳		合格率							
		新規	譲渡等			新規	譲渡等		新規	譲渡等			新規	譲渡等		新規	譲渡等			新規	譲渡等		新規	譲渡等					
R2.9.18	6	5	1	5	4	1	1	0	83.3%	3	3	0	2	2	0	1	1	0	66.7%	9	8	1	7	6	1	2	2	0	77.8%